

# Panasonic®

## 取扱説明書



 Strada

車載用 地上・BS・110度CS  
デジタルチューナー

品番 TU-DTV200

確認

設定

見る

設置・接続

必要なとき

### 保証書別添付

このたびは、パナソニック車載用 地上・BS・110度CSデジタルチューナーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(6~9ページ)は、**ご使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。**

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

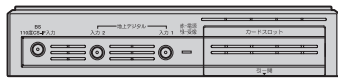

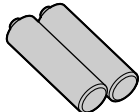
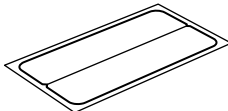
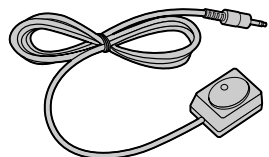
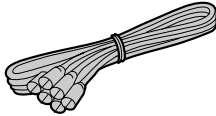
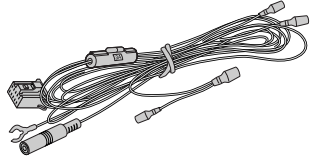
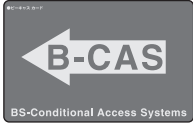
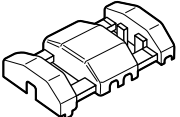
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

- 製造番号は、安全確保上重要なものです。

お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

# 商品構成一覧表 (取り付け前にご確認ください。)

本機には、次のものが同梱されています。設置、接続の前にご確認ください。( )は個数です。万一、足りない場合や破損していた場合は、すぐに販売店までご連絡ください。

<input type="checkbox"/> 本機 ……………(1) 	<input type="checkbox"/> リモコン ……………(1) 	<input type="checkbox"/> 単3形乾電池……………(2) (リモコン用) 
<input type="checkbox"/> はり付けテープ ……(2) (本体取り付け用) 	<input type="checkbox"/> リモコン受信部 ……(1) (固定用両面テープ 1枚付き)  長さ：3 m	<input type="checkbox"/> 映像・音声コード ……(1)  長さ：1.5 m
<input type="checkbox"/> 電源コード ……………(1) 	<input type="checkbox"/> B-CASカード ……………(1) 	<input type="checkbox"/> 圧着式コネクタ ……(1) 

- 付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

# 使用上のご注意

- デジタル放送では受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズ、音声途切れの発生や静止画面、黒画面となり音が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用に比べて受信可能エリアが狭くなります。また、車の場所や方向、速度などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴すると正常に受信できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。

## 業務用途について

- バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途で使用する場合は、有料放送の契約ができないことがあります。
- 盗難防止のため、車から離れる際はB-CASカードを本機から抜き、車内に残さないようにすることをおすすめします。

## B-CASカードの取り扱い

- B-CASカードを挿入しないとデジタル放送の受信ができません。
- ダッシュボードの上など、高温になるところにカードを放置しないでください。
- 使用許諾契約約款をよくお読みの上、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを機器に正しく挿入してください。
- 盗難防止のため、車から離れる際はB-CASカードを本機から抜き、車内に残さないようにすることをおすすめします。

## 衛星放送の受信

- NHKのBSデジタル放送のテレビ画面に、NHKへの連絡をお願いするメッセージが表示されることがあります。詳しくは同梱の「ファーストステップガイド」をご覧ください。
- BSデジタル、110度CSデジタルの有料放送を契約される場合は、お手数ですが各放送業者に電話で「車で使用する」旨を説明してお申し込みください。(P.14、15ページ)

## 次の点にご留意ください。

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを楽しむことは、有料サービス契約上禁止されています。
- 万一、本機の不具合により、録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。
- メールなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

確認

## 確認

- 商品構成一覧表 .....2
- 使用上のご注意 .....3
- 安全上のご注意 .....6
- 快適にお使いいただくために .....10
  - 緊急警報放送 (EWS) について .....11
- ご使用の前に .....12
- 別売品との組み合わせでシステムアップ .....13
- 本機の特長と楽しみかた .....14
- 各部のはたらき .....16
- B-CASカードの挿入 .....18
- メニュー画面の操作と項目 .....19

## 設定

- かんたん設置設定 .....20
- チャンネルの設定 .....24
  - 地上デジタル放送：ホームスキャン .....24
  - 地上デジタル放送：おでかけスキャン .....26
  - 衛星デジタル放送：お好み設定 .....28
- 接続テレビ設定 .....29
- 選局設定 .....32
- 視聴制限設定 .....34
- 受信設定 .....36
- 地域設定 個人情報消去 .....38
- デジタル音声設定 .....40

## 見る

- いろいろな情報を見る .....42
- テレビ放送を見る .....46
- 番組表から見る .....48
- データ放送を見る .....50
- 信号を切り換える .....51
- 画面キーボードで文字を入力する .....52

## 設置・接続

- 本機の設置と接続 .....56
- 電源の接続と配線 .....58
- パーキングブレーキ入力リードの接続 .....59
- 地上デジタル放送受信アンテナの接続 .....60
- 車載用衛星アンテナの接続 .....61
- ディスプレイ、カーナビゲーションの接続 .....62
  - 当社製テレビとの連動 .....71
  - 映像端子で映像機器を接続 .....73
- 専用端子とD2映像端子でカーナビゲーションとカーテレビを接続 .....74
- 他社機器との接続 .....76
- リモコンの設定 .....77

## 必要なとき

- 地上デジタル放送チャンネル一覧表 .....78
- アイコン一覧 .....80
- メッセージ表示一覧 .....82
- お手入れについて .....82
- 故障かな!? .....83
- 用語解説 .....86
- さくいん .....87
- 保証とアフターサービス .....88
- 仕様 .....91
- 別売品のご紹介 .....92

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される危害の程度」です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるかまたは物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。



## 警告

### 配線・取り付け／取りはずしは、専門技術者にご依頼ください



取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

●安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。

### 取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しないでください



ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

禁止

### 取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめてください



車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因となります。

### 運転や視界を妨げたり、同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けしないでください



禁止

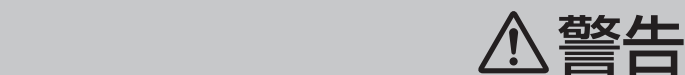
運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ブレーキペダル付近など)、前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因となります。

### 運転者は走行中に操作をしたり、画像を見たりしないでください



禁止

●走行中に操作をすると、不注意となり事故の原因となります。操作は安全な場所に停車して行ってください。  
●表示された画像を注視しないでください。



## 警告

### 車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付けてください



車体やダッシュボードに穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因となります。

### 故障や異常のまま使用しないでください



禁止

煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

●直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

### はずれたり・落下しないように、しっかり取り付けてください



ねじがゆるんでいたり、接着が弱いと、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

### 雷が鳴り出したらアンテナ線やテレビには触れないでください



接触禁止

感電の原因となります。

### ぬらしたりしないでください



水ぬれ禁止

火災や感電の原因となります。

### コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回してください



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因となります。

### DC12 V マイナス⊖アース車で使用してください



DC12 V マイナス⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車(DC24 V車)には使用できません。火災や故障の原因となります。

### 分解や改造はしないでください



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

### ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください



禁止

あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

### 異物を入れないでください



禁止


機器内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。

確認




## 警告


安全のため、必ずパーキングブレーキ入力を正しく配線してください

 説明に従って正しく配線しないと、安全機能が動かなくなり、交通事故の原因になります。


正しく配線を行ってください

 誤った配線をするとう発火や事故の原因となります。特にリード線がねじやシートレールの可動部分にかみ込まないよう整形し、固定してください。


配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください

 バッテリーのマイナス端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

使用しないコードの先端などは、絶縁してください


 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください

 誤って飲み込む恐れがあります。  
禁止


●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

リモコンを放置しない


 運転中に足もとに転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。  
禁止

## 注意


本機の通風孔をふさがないでください

 内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。  
禁止


走行中は適正な音量で使用してください

 車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は事故の原因となることがあります。

車載用以外には使用しないでください


 車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。  
禁止

コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけないでください


 ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。  
禁止

## 注意


振動の多いところや不安定な場所に取り付けしないでください

 傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。  
禁止


洗車するときは、車外に取り付けたアンテナなどを取りはずしてください

 脱落して事故やけがの原因になります。自動洗車機（高圧水）による洗車は絶対におやめください。


必ず付属品や指定の部品を使用してください

 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。


リモコンは直射日光・高温の場所を避けて保管してください

 ケースの変形、内部電池の破裂、液もれの原因になります。


高温になる場所などに取り付けない

 直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。  
禁止


水がかかる所やほこりの多い所に取り付けしないでください

 火災や感電の原因となることがあります。  
禁止


決められたヒューズを使用してください

 必ず規定のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

電池を入れるときには、極性表示（プラス $+$ とマイナス $-$ の向き）に注意してください

 機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

 間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。  
禁止

# 快適にお使いいただくために

## 設置について

- 次のところには、取り付けないでください。  
水のかかるところ、足でふまれるところ、およびヒーターのダクトなど温風の近くや、カーペットの下などの熱がこもるところ、直射日光のあたるところ。

## 取り扱いについて

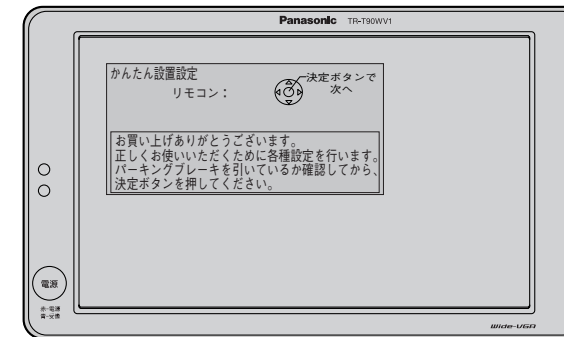
- エンジンをかけてご使用ください。  
エンジンを止めた状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗します。
- 衝撃を与えないでください。  
本機を落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障の原因になります。
- リモコンを落としたり、踏みつけたりなど衝撃を与えないでください。  
無理な力をかけると部品がこわれ、故障の原因となります。
- 他の機器と接続する場合は……  
接続する機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

## 免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 商品に添付の保証書は、当該製品を業務用の車両(バス・タクシー・商用車など)に使用した場合、適用対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、プライバシー保護のため本機に入力した個人情報(登録ポイントの住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去等)は、必ずお客様の責任において行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラム等が変化・消失した場合の補償はできません。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。

## かんたん設置設定について

- 本機をお買い上げのあと設置して初めて電源「入」にすると自動的に「かんたん設置設定」の初期画面になります。



- 本書の20～23ページをご覧ください。
- そのまま画面の内容をお読みになり設定をすれば、チャンネル設定(ホームモード)など本機を使用するために必要な設置設定が完了します。(チャンネル設定はホームモードでのチャンネルが設定されます。)

### お知らせ

- かんたん設置設定を行わず電源を切ると、次回も上記画面が表示されます。
- かんたん設置設定が正しく設定されていないと、番組表が表示されない場合があります。

## 緊急警報放送 (EWS) について

### ● 緊急警報放送 (EWS) とは…

大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

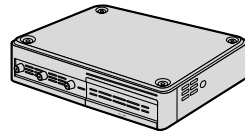
### ● 緊急警報放送 (EWS) 受信時の本機の動作

- ・ 視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送のチャンネルに切り換わります。
- ・ 一度選局された緊急警報放送のチャンネルは、放送終了または電源を「入」「切」するまでは自動では再選局しません。
- ・ 緊急警報放送が終了しても、切り換わったチャンネルはそのままです。元のチャンネルには戻りません。再度、お好みのチャンネルを選局ください。

# ご使用の前に

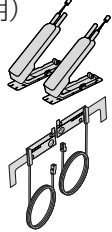
お買い上げ後、初めてお使いになるときにご準備ください。

## 1 本機を車に取り付ける (☞ 56ページ)

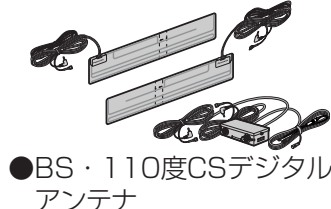


## 2 アンテナ(別売)を接続する(☞ 60、61ページ)

- ダイバーシティアンテナ  
(地上デジタル用)  
リアウインドウ  
はり付けタイプ  
または  
車室内フィルム  
タイプ



- (デジタル・アナログ兼用)  
車室内フィルムタイプ



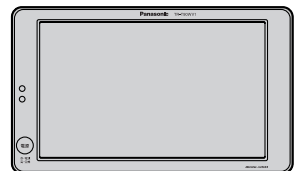
- BS・110度CSデジタル  
アンテナ

## 3 電源コード(付属)(☞ 58ページ)とリモコン受信部(付属)(☞ 17ページ)を接続する

- ※ 専用端子で他機器を接続する場合は、リモコン受信部(付属)は接続しません。

## 4 テレビまたはモニターと接続する(☞ 65~70、72ページ)

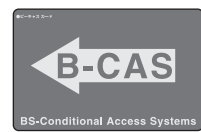
- 地上デジタルチューナー接続端子付き、または映像・音声入力端子付きテレビ、モニター



## 5 各機器を接続する(☞ 62~76ページ)

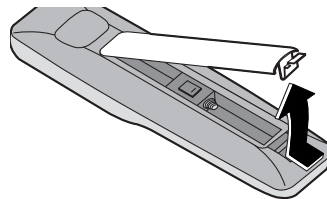
## 6 B-CASカードを挿入する(☞ 18ページ)

- 挿入しないとデジタル放送が視聴できません。

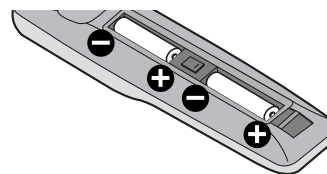


B-CASカード(付属)

## 7 リモコンに電池を入れる ふたを開け



電池を ⊖ 側から先に入れ、  
ふたを閉める



## 8 エンジンをつける

- 運転者から見える位置にカーナビゲーションやカーテレビなどのディスプレイを取り付けた場合は、パーキングブレーキを引いてからエンジンをかけてください。



パーキングブレーキ

## 9 カーテレビ、カーナビゲーション、カーモニターの入力切換などを本機に接続した画面にする

## 10 「かんたん設置設定」をする(☞ 20~23ページ)

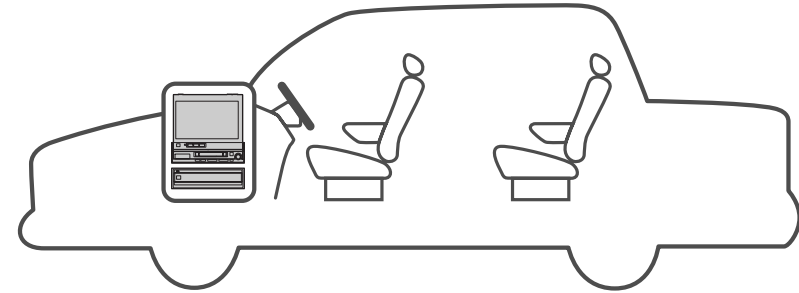
- 選局時の放送サービスを「選局設定」で設定してください。(☞ 32、33ページ)
- 接続されるテレビに合わせて「接続テレビ設定」を行ってください。(☞ 29~31ページ)
- デジタル音声接続の場合は、「デジタル音声設定」を行ってください。(☞ 40、41ページ)

これで、基本の接続と設定は終了です  
46ページからの説明をご覧ください。

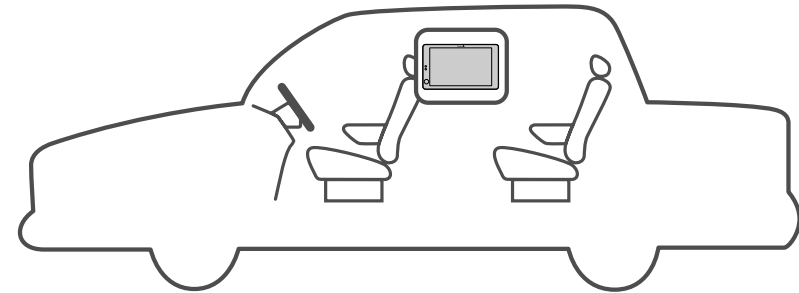
# 別売品との組み合わせでシステムアップ

地上デジタル放送を見るには、本機と当社製の車載機器(別売)が必要です。各機器との接続は、下記参照ください。

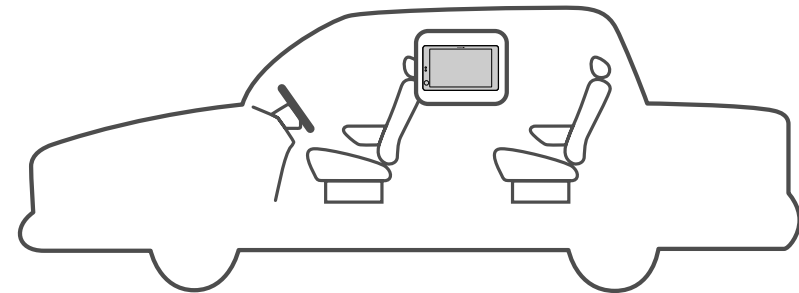
## ■ カーナビゲーションと接続(☞ 62~64、74、75ページ)



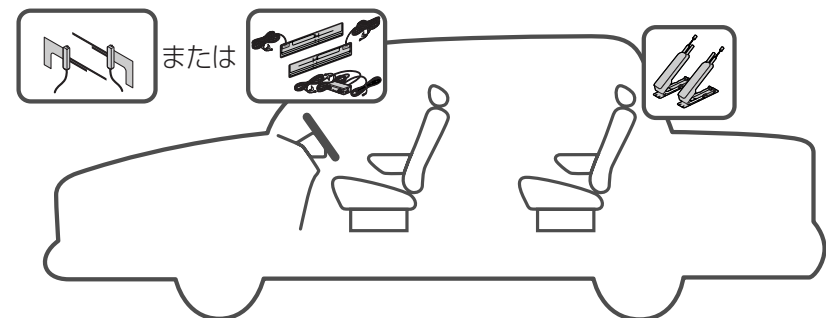
## ■ カーテレビと接続(☞ 65~70、72、74、75ページ)



## ■ カーモニターなど映像機器と接続(☞ 72、73ページ)



## ■ 専用アンテナと接続(☞ 60、61ページ)



確認



# 本機の特長と楽しみかた

## 本機の特長

### ■ 地上デジタル\*1、BSデジタル、110度CSデジタル放送に対応

3つのデジタル放送を高画質・高音質に楽しむ。

※1：本機には電話通信機能が無いため、双方向データサービスに対応していません。

### ■ ワンセグに対応\*2

従来の地上デジタルテレビ放送に加え、ワンセグにも対応。

また、地上デジタルテレビ放送↔ワンセグへの自動切り換えまたは手動切り換えにより、受信エリアが拡大します。(2008年までは、サイマル放送が運用される予定です。)

※2：「ワンセグ」の番組は、地上デジタルテレビ放送と同じものですが、あくまで携帯端末のような小画面を対象とした簡易動画です。ハイビジョンではありません。その為、お使いの車載用モニターでの表示画質が地上デジタルテレビ放送とワンセグでは、大きく異なります。本機は、ワンセグのデータ放送と字幕には対応していません。

### ■ ホーム/おでかけモード

いつも見ている番組がおでかけ先でも、いつもと同じチャンネルで視聴できます。(放送局によっては、放送日時の変更および地区独自の番組を行っている場合があります。)

(☎ 24～27ページ)

### ■ おまかせ受信モード(受信モード自動切換)

おまかせ受信モード(受信モード自動切換:「オン」)を設定すれば、電波状態を感知して地上デジタルテレビ放送とワンセグを自動で切り換え、サイマル放送の場合には同じ番組を表示できます。リモコン操作不要でワンセグ切り換えができます。(☎ 32、33ページ)

### ■ 本格的5.1chサラウンドシステムに対応

システムアップ\*3で地上デジタルテレビ放送でのAAC5.1chサラウンドに対応。

(☎ 40、41ページ)

※3：別売のカーナビゲーションシステムやサラウンドスピーカーシステムが必要です。

## デジタル放送を楽しむ

(☎ 46～55ページ)

デジタル放送は、従来の地上アナログ放送(VHF、UHF)やBSアナログ放送と違い、映像や音声をデジタル化することで、高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しむことができます。

### ● デジタル放送には3種類の放送(サービス)があります。

テレビ放送：従来からのテレビ放送、ラジオ放送：音声を主とした放送、

データ放送：お住まいの地域の生活情報やクイズなどの放送(天気予報やニュースなど)

### ● テレビ放送で を押すと、データ放送を表示できる場合があります。(☎ 50ページ)

この場合、現在のテレビ放送に関連した情報などが表示されます。

### ● ラジオ放送は、BSデジタルと110度CSデジタルの一部でのみ、実施されています。

### ● 番組表からの選局やチャンネル選局で、ご覧いただけるデータ放送では の操作は不要です。

### ● 本機は、ペーパービュー(PPV)放送には対応していません。

## 番組表を使う

(☎ 48、49ページ)

本機の画面上に番組を新聞のテレビ欄のように一覧表示します。(地上デジタルテレビ放送は最大8日分、ワンセグは最大10番組)

● 番組表から今、放送中の番組の選局ができます。

● 地上デジタルの番組情報は地上デジタル放送と一緒に送られています。

B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。(☎ 18ページ)

## 地上デジタル

● UHF帯の電波を使って行う放送で、関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは当初限定されていますが、順次拡大される予定です。高品質の映像と音声、更にデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。(2006年5月現在)

## ワンセグ

		1チャンネル(13セグメント)												
地上デジタル放送		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
地上デジタル	(HDTV放送時)													
テレビ放送	(SDTV放送時)													
ワンセグ														

● 「ワンセグ」とは、携帯電話など移動体端末向け地上デジタル放送サービスの名称です。地上デジタル放送では、1チャンネルの周波数帯域を13セグメント(区分)に分割し、そのうち12セグメントを使って据え置き型テレビ向けにハイビジョン放送や多チャンネル放送を行っています。

## BSデジタル

● 放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って行う放送でハイビジョン放送やデータ放送が特長です。BS日テレ、BS朝日、BS-i、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。WOWOWなどの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。

## 110度CSデジタル

● 通信衛星(Communications Satellite)を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。  
● 110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー!110」への加入申し込みと契約が必要です。「スカパー!110」にはCS1とCS2の2つの放送サービスがあります。

### お問い合わせ先

- 「スカパー!110」カスタマーセンター0570-012-110(ナビダイヤル)(携帯電話・PHSのかたは045-339-0002)受付時間10:00~20:00(年中無休)
- 「スカパー!110」公式ホームページ<http://www.skyperfectv110.jp/>

## お願い

車のエンジンを切り、ACC電源を「オフ」にすると、本機の電源は切れます。また、車の場所、方向などにより受信状態が悪くなる場合があります。そのため、BSデジタル、110度CSデジタルの有料放送を契約したにもかかわらず、速やかに受信できない、契約の更新が行われない場合があります。有料放送などの契約をお申し込みされる場合、しばらくの間電源を入れ、その契約チャンネルで放送を受信しておく必要があります。他の無料放送が受信できるのに、契約した有料放送だけが受信できない場合は、契約をした放送事業者または松下電器のお客様ご相談窓口へ「車で使用している」旨を伝えてお問い合わせください。

確認

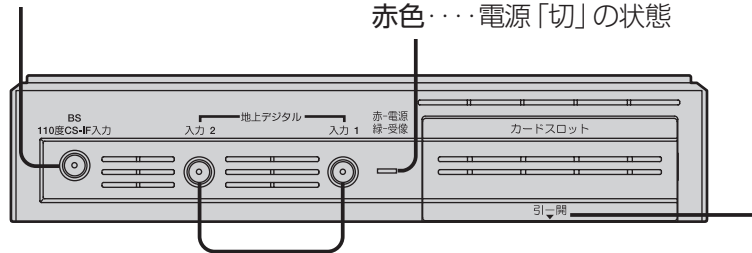


# 各部のはたらき

## 本体前面

BS・110度CSデジタルアンテナを接続する (☞ 61ページ)

電源表示ランプ  
 緑色……電源「入」の状態 (受像)  
 赤色……電源「切」の状態

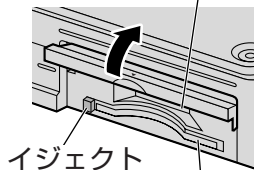


ダイバーシティアンテナ (地上デジタル用) を接続する (☞ 60ページ)

### お願い

- アンテナ端子にF型接栓を接続するときは、手で緩まない程度に締め付けてください。締め付けすぎると本機内部が破損する場合があります。

SDカード挿入口  
 内部ソフトバージョンアップに使用し、画像や音楽等のデータには使用できません。



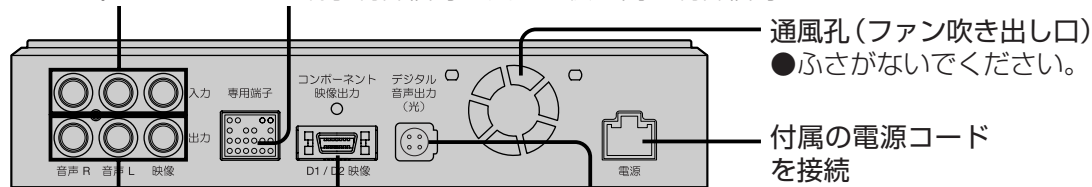
イジェクトボタン

B-CASカード挿入口  
 「▼」部の下の面を持ち上げる

## 本体背面

映像・音声出力端子のある映像機器に接続 (☞ 73ページ)

本機との専用端子のある機器を接続 (☞ 62、64、65、67、74ページ)  
 映像・音声 (L・R)、コンポーネント (色差) 映像、D端子制御信号の出力。機器間の制御信号



通風孔 (ファン吹き出し口)  
 ● ふさがらないでください。

付属の電源コードを接続

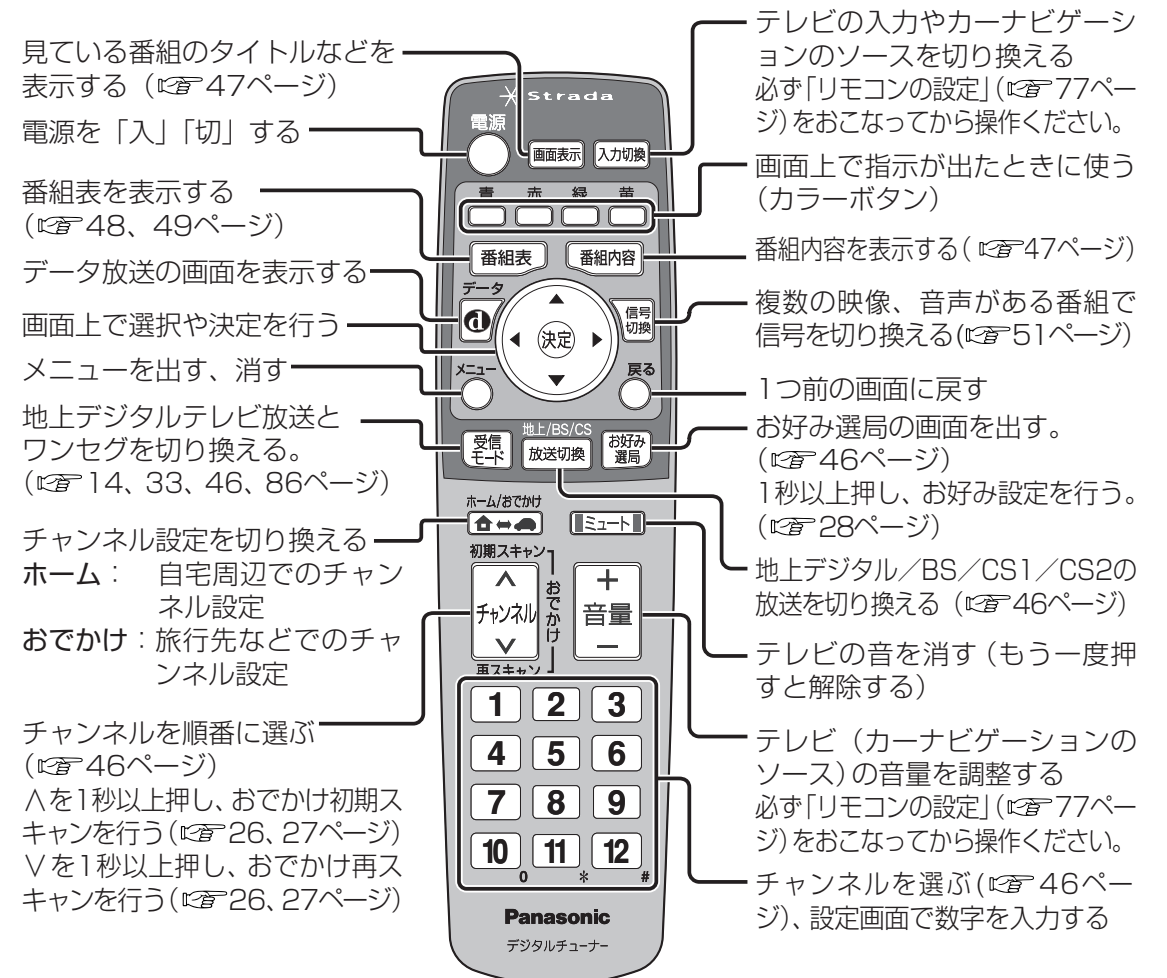
映像・音声入力端子のある映像機器を接続 (☞ 64、69～70、72、74、76ページ)  
 電源「入」時：デジタル放送の映像・音声を出力  
 電源「切」時：外部入力端子の映像・音声を出力

D1映像またはD2映像入力端子のある映像機器を接続 (☞ 63、69、74～76ページ)

光デジタル音声入力端子のあるオーディオ機器を接続 (☞ 40、62、63、74ページ)

## リモコン

- いづれかのボタンを押すと、「電源」「ホーム/おでかけ」「ミュート」「チャンネル」「音量」「1～12」のボタンが点灯します。押し続けて5秒間操作しない場合は消えます。



見ている番組のタイトルなどを表示する (☞ 47ページ)

電源を「入」「切」する

番組表を表示する (☞ 48、49ページ)

データ放送の画面を表示する

画面上で選択や決定を行う

メニューを出す、消す

地上デジタルテレビ放送とワンセグを切り換える。 (☞ 14、33、46、86ページ)

チャンネル設定を切り換える  
 ホーム： 自宅周辺でのチャンネル設定  
 おでかけ： 旅行先などでのチャンネル設定

チャンネルを順番に選ぶ (☞ 46ページ)

▲を1秒以上押し、おでかけ初期スキャンを行う (☞ 26、27ページ)  
 ▼を1秒以上押し、おでかけ再スキャンを行う (☞ 26、27ページ)

テレビの入力やカーナビゲーションのソースを切り換える  
 必ず「リモコンの設定」 (☞ 77ページ) をおこなってから操作ください。

画面上で指示が出たときに使う (カラーボタン)

番組内容を表示する (☞ 47ページ)

複数の映像、音声がある番組で信号を切り換える (☞ 51ページ)

1つ前の画面に戻す

お好み選局の画面を出す。 (☞ 46ページ)

1秒以上押し、お好み設定を行う。 (☞ 28ページ)

地上デジタル/BS/CS1/CS2の放送を切り換える (☞ 46ページ)

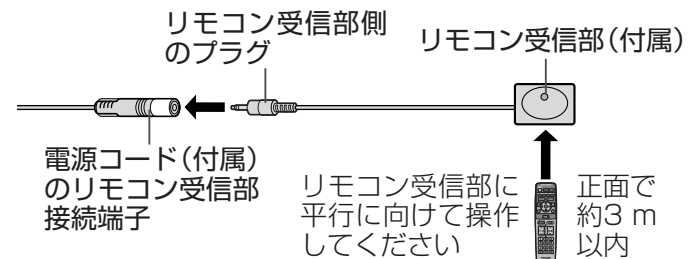
テレビの音を消す (もう一度押しと解除する)

テレビ (カーナビゲーションのソース) の音量を調整する  
 必ず「リモコンの設定」 (☞ 77ページ) をおこなってから操作ください。

チャンネルを選ぶ (☞ 46ページ)、設定画面で数字を入力する

### ■ リモコン受信部 (付属) の接続

- 本機の専用端子以外の端子だけで他の機器を接続してお使いのときは、必ずリモコン受信部 (付属) をお使いください。専用端子で他の機器を接続する場合は、リモコン受信部 (付属) は接続しません。



電源コード (付属) のリモコン受信部接続端子

リモコン受信部に平行に向けて操作してください  
 正面で約3m以内

### お願い

- リモコン受信部に直射日光や強い照明があたると、リモコンの動作が鈍くなります。リモコン受信部にリモコンを近づけて操作してください。
- リモコン受信部とリモコンの間に物を置かないでください。
- リモコン受信部は指向性が強いので、傾けると動作しにくくなります。リモコン受信部に対して平行に向けてください。

# ビーキャスト B-CASカードの挿入

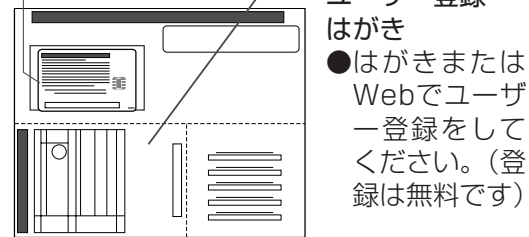
- カードの説明書に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
- B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。
- 「使用許諾契約約款」をよくお読みください。

BS/地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月から原則として1回だけ録画可能のコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

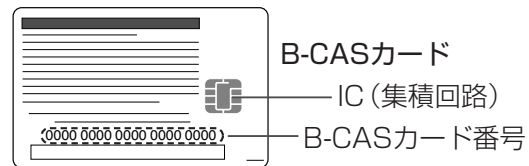
## ■ B-CASカードについて

### B-CASカード(添付)

- デジタル放送の視聴のために必要なカードです。



ユーザー登録はがき  
●はがきまたはWebでユーザー登録をしてください。(登録は無料です)



- B-CASカードを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

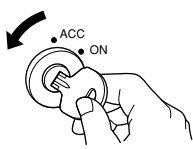
## ■ B-CASカード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC(集積回路)部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。
- BS/110度CSデジタル放送対応受信機には使用しない。(同梱のB-CASカードは地上デジタル専用です。)

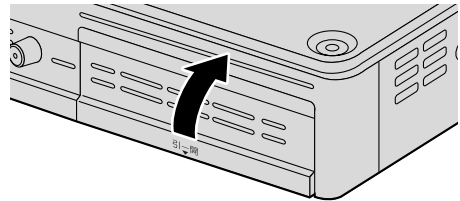
■ B-CASカードについてのお問い合わせは  
(株)ビーエス・コンディショナルアクセス  
システムズ カスタマーセンター  
TEL 0570-000250

- カードの不具合と確認された場合は、お客様よりカスタマーセンターにお問い合わせ下さい。修理センターなどでカード交換を行った際発生した作業工賃などの費用は、お客様のご負担となります。

1 エンジンを切り、ACCオフにする

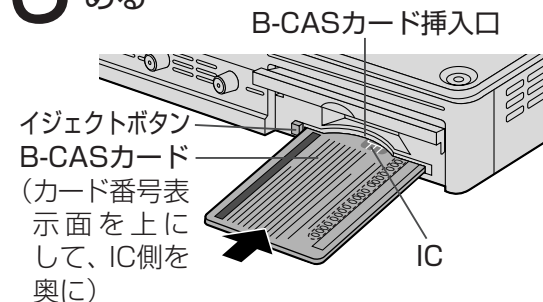


2 前面の扉を開ける



「▼」部の下の面を持ち上げます。

3 B-CASカードを挿入し、扉を閉める



- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

■ B-CASカードのテストをするときは  
(☞ 44ページ)

### ■ B-CASカードを抜くとき

- ➔ (1) エンジンを切る。(ACCオフ)
- (2) イジェクトボタンを押し、ゆっくりとB-CASカードを抜く。
- B-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。(☞ 44ページ)

# メニュー画面の操作と項目

選択/決定ボタン

メニュー

戻る

☞ を押すと下記メニュー画面が出ます。画面で確認しながら設定や放送メールなどの情報を見ることができます。

押して「情報/メール」「システム設定」を選ぶ

押して見たい情報や設定したい項目を選び☞を押す

1つ前の画面に戻るときは☞を押す

情報/メール	
放送局一覧	現在登録されている地上デジタル放送の放送局を一覧で表示(☞ 42、43ページ)
アンテナレベル	受信しているアンテナのレベルを表示(☞ 42、43ページ)
放送メール	放送局からのお知らせメールを表示(☞ 44ページ)
B-CASカード	B-CASカードの番号の表示とカードのテスト(☞ 44ページ)
ボード	110度CSデジタル放送から送られる情報を表示(☞ 45ページ)
ID表示	本機に関する情報を表示(☞ 45ページ)

## ■ 「情報/メール」メニュー

システム設定	
チャンネル設定	地上デジタル放送のチャンネルを設定(☞ 24、25ページ)
選局設定	受信モード自動切換設定と、選局の対象となる放送サービスを設定(32、33ページ)
視聴制限設定	視聴できる年齢を制限(☞ 34、35ページ)
受信設定	アンテナの受信状況を確認する(☞ 36、37ページ)
地域設定	データ放送で地域情報を受信するための設定(☞ 38、39ページ)
接続テレビ設定	接続するテレビに合わせて設定(☞ 29~31ページ)
デジタル音声設定	デジタル音声出力の設定(☞ 40、41ページ)
個人情報消去	本機に記録されているお客様の操作に関する個人情報(メールなど)をすべて削除し、設定を工場出荷状態に戻す(☞ 38、39ページ)

## この取扱説明書での表記について

- ☞ の上下左右のボタンを▲▼◀▶で表記しているページもあります。